平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月30日

上場会社名　三菱製鋼株式会社　　上場取引所　東
コード番号　5632　URL　http://www.mitsubishisteel.co.jp/
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 大野信道
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長　(氏名) 菊地孝太郎　TEL 03-3536-3135

四半期報告書提出予定日　平成24年2月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	98,859	5.9	8,898	30.6	8,219	27.6	3,041	8.3
23年3月期第3四半期	93,335	89.1	6,813	―	6,443	―	2,808	―

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　2,267百万円　(△26.9%)　23年3月期第3四半期　3,102百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	19.74	―
23年3月期第3四半期	18.23	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	108,736	54,723	44.9
23年3月期	113,605	53,149	42.3

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　48,792百万円　23年3月期　48,035百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	1.50	―	3.00	4.50
24年3月期	―	1.50	―		
24年3月期(予想)				3.00	4.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	133,000	6.4	9,700	4.4	9,000	0.6	3,500	△1.7	22.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

（注）詳細は、添付資料3ページ「2．サマリー情報（その他）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	156,556,683 株	23年3月期	156,556,683 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	2,514,784 株	23年3月期	2,509,221 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	154,045,116 株	23年3月期3Q	154,050,850 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
なお、本予想に関する事項は添付資料3ページ「1．当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報…… 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 …… 3

2. サマリー情報（その他）に関する事項…… 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3

3. 四半期連結財務諸表 …… 4
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
(3) 継続企業の前提に関する注記 …… 8
(4) セグメント情報等 …… 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

1.　当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（平成23年４月～平成23年12月）における当社グループを取りまく経営環境は、東日本大震災等の影響により主要な需要先である建設機械・自動車業界の需要が一時的に落ち込みましたが、期間後半に向けて順調に回復してまいりました。
このような状況下、当第３四半期連結累計期間の売上高は、主要事業である特殊鋼鋼材事業が堅調に推移したことにより、前年同期比5.9%、55億２千３百万円増収の988億５千９百万円となりました。経常利益は、震災の影響による期間前半の販売減と一部事業の減益要因があったものの、主要事業の早期の需要回復と改善効果により、前年同期比27.6%、17億７千６百万円増益の82億１千９百万円となりました。また、当第３四半期純利益は、前年同期比8.3%、２億３千２百万円増益の30億４千１百万円となりました。
セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

［特殊鋼鋼材事業］
売上高は、主要顧客の建設機械関連に減速傾向があるものの、全体としては概ね順調に推移したことにより、前年同期比16.8%、75億３千１百万円増収の522億４千４百万円となりました。経常利益は、堅調な売上げにより、前年同期比28.2%、14億７百万円増益の63億８千９百万円となりました。

［ばね事業］
売上高は、震災及びタイの洪水等による自動車関連需要の落ち込みと、携帯電話機用ヒンジの売上げが減少したため、前年同期比△2.3%、７億３千８百万円減収の313億１千５百万円となりました。経常利益は、売上減の影響があるものの精密部品の構造改革効果と北米子会社の改善が進んでいることにより、前年同期比４億８千８百万円増益の９千３百万円となりました。

［素形材事業］
売上高は、ターボチャージャー部品・ＯＡ機器関連部品の堅調な需要により、前年同期比5.3%、４億７千９百万円増収の94億９千１百万円となりました。経常利益は、売上増により、前年同期比5.0%、５千９百万円増益の12億３千６百万円となりました。

［機器装置事業］
売上高は、鍛圧機械等の大幅な減少により、前年同期比△19.6%、18億９千７百万円減収の78億４百万円となりました。経常利益は、売上げの減少及び為替の影響により、前年同期比△48.8%、４億２千７百万円減益の４億４千９百万円となりました。

［その他の事業］
流通及びサービス業等でありますが、売上高は前年同期比8.0%、２億１千万円増収の28億４千９百万円、経常利益は前年同期比0.9%、１百万円増益の１億７千４百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は1,087億３千６百万円となり、前連結会計年度末に比べ48億６千８百万円減少しました。主な要因は、売上債権の増加、有価証券（譲渡性預金）の減少、有形固定資産の減少、投資有価証券の減少等であります。当第３四半期連結会計期間末の負債合計は540億１千３百万円となり、前連結会計年度末に比べ64億４千１百万円減少しました。主な要因は、仕入債務の減少、未払法人税等の減少、流動負債「その他」の減少等であります。当第３四半期連結会計期間末の純資産は547億２千３百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億７千３百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金の増加、その他有価証券評価差額金の減少等であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期通期の連結業績予想については、平成23年10月25日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおりであります。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当する事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当する事項はありません。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更）

当第２四半期連結会計期間末において、環境対策費が浄化範囲・浄化工法の見直しにより、当連結会計年度の期首時点における見積額を超過する見込みであることが明らかになったことから、見積りの変更を行っており、それに伴う増加額を特別損失に計上し、変更前の資産除去債務に加算しております。

これにより、当第３四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益が350百万円減少しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,729	9,578
受取手形及び売掛金	24,050	29,206
有価証券	11,500	6,100
商品及び製品	7,492	7,580
仕掛品	4,974	4,638
原材料及び貯蔵品	2,970	2,648
その他	4,875	3,445
貸倒引当金	△58	△23
流動資産合計	64,535	63,174
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,271	10,558
機械装置及び運搬具（純額）	10,781	9,774
その他（純額）	7,662	8,256
有形固定資産合計	29,716	28,589
無形固定資産		
のれん	2,102	1,828
その他	269	767
無形固定資産合計	2,371	2,595
投資その他の資産		
投資有価証券	13,769	11,615
その他	3,252	2,801
貸倒引当金	△40	△40
投資その他の資産合計	16,981	14,376
固定資産合計	49,069	45,561
資産合計	113,605	108,736

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,235	20,424
短期借入金	8,730	7,036
未払法人税等	3,391	1,280
引当金	640	673
その他	6,407	5,427
流動負債合計	42,406	34,841
固定負債		
長期借入金	7,740	10,100
退職給付引当金	6,667	6,545
役員退職慰労引当金	132	83
負ののれん	214	186
その他	3,293	2,255
固定負債合計	18,048	19,172
負債合計	60,455	54,013
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,924	9,924
資本剰余金	3,605	3,605
利益剰余金	34,111	36,459
自己株式	△1,066	△1,067
株主資本合計	46,574	48,921
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,696	1,546
為替換算調整勘定	△1,235	△1,675
その他の包括利益累計額合計	1,460	△129
少数株主持分	5,114	5,930
純資産合計	53,149	54,723
負債純資産合計	113,605	108,736

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）
売上高	93,335	98,859
売上原価	78,357	81,191
売上総利益	14,977	17,667
販売費及び一般管理費	8,164	8,768
営業利益	6,813	8,898
営業外収益		
受取利息	19	23
受取配当金	202	144
その他	240	222
営業外収益合計	462	390
営業外費用		
支払利息	277	250
為替差損	419	417
その他	136	401
営業外費用合計	833	1,069
経常利益	6,443	8,219
特別利益		
固定資産処分益	8	－
投資有価証券売却益	－	20
特別利益合計	8	20
特別損失		
固定資産処分損	7	－
減損損失	－	50
投資有価証券評価損	334	11
ゴルフ会員権評価損	2	－
環境対策費	10	350
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	34	－
特別損失合計	389	411
税金等調整前四半期純利益	6,061	7,829
法人税、住民税及び事業税	2,265	3,164
法人税等調整額	△81	735
法人税等合計	2,184	3,899
少数株主損益調整前四半期純利益	3,877	3,929
少数株主利益	1,068	888
四半期純利益	2,808	3,041

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	3,877	3,929
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	79	△1,149
繰延ヘッジ損益	△2	－
為替換算調整勘定	△851	△512
その他の包括利益合計	△774	△1,662
四半期包括利益	3,102	2,267
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,293	1,451
少数株主に係る四半期包括利益	808	816

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当する事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第３四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日）　（単位：百万円）

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	特殊鋼鋼材	ばね	素形材	精密部品	機器装置	（注 1）		（注 2）	（注 3）
売上高									
外部顧客への売上高	41,795	28,213	8,810	3,770	9,701	1,410	93,703	△ 367	93,335
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,916	0	201	70	0	1,228	4,417	△ 4,417	―
計	44,712	28,213	9,012	3,840	9,702	2,638	98,120	△ 4,784	93,335
セグメント利益又は損失(△)	4,982	△ 197	1,177	△ 197	876	172	6,814	△ 371	6,443

（注） 1.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通及びサービス事業等を含んでおります。

2. 売上高の調整額△367百万円は、決算期の異なる海外子会社の決算期間差調整額△162百万円及び内部取引の調整額△205百万円であります。

セグメント利益又は損失（△）の調整額△371百万円は、各セグメントに配分していない全社損益予算差△50百万円、決算期の異なる海外子会社の決算期間差調整額△67百万円、のれん及び負ののれんの償却額△246百万円及び棚卸資産未実現利益額等△7百万円であります。

全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び受取配当金であります。

3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）　（単位：百万円）

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	特殊鋼鋼材	ばね	素形材	機器装置	（注 1）		（注 2）	（注 3）
売上高								
外部顧客への売上高	48,907	31,313	9,240	7,798	1,348	98,609	250	98,859
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,336	2	251	5	1,500	5,096	△ 5,096	―
計	52,244	31,315	9,491	7,804	2,849	103,705	△ 4,846	98,859
セグメント利益又は損失(△)	6,389	93	1,236	449	174	8,343	△ 123	8,219

（注） 1.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通及びサービス事業等を含んでおります。

2. 売上高の調整額250百万円は、決算期の異なる海外子会社の決算期間差調整額△144百万円及び内部取引の調整額394百万円であります。

セグメント利益又は損失（△）の調整額△123百万円は、各セグメントに配分していない全社損益予算差△92百万円、決算期の異なる海外子会社の決算期間差調整額43百万円、のれん及び負ののれんの償却額△246百万円及び棚卸資産未実現利益額等171百万円であります。

全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び受取配当金であります。

3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

当第１四半期連結会計期間から、平成23年４月１日付けの事業再編に伴い「精密部品事業」を「ばね事業」に統合したため、報告セグメントも「精密部品」を「ばね」含めております。

なお、前第３四半期連結累計期間のセグメント情報を、当第３四半期連結累計期間において用いた報告セグメントに基づき作成すると次のとおりとなります。

前第３四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日）　（単位：百万円）

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注 3）
	特殊鋼鋼材	ばね	素形材	機器装置	（注 1）		（注 2）	
売上高								
外部顧客への売上高	41,795	31,984	8,810	9,701	1,410	93,703	△ 367	93,335
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,916	70	201	0	1,228	4,417	△ 4,417	―
計	44,712	32,054	9,012	9,702	2,638	98,120	△ 4,784	93,335
セグメント利益又は損失(△)	4,982	△ 394	1,177	876	172	6,814	△ 371	6,443

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「ばね」セグメントにおいて、市場価格の下落により、遊休資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第３四半期連結累計期間においては50百万円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当する事項はありません。